



漁船海難遺族のくらしと教育環境

国際児童年記念調査公表

昨年八月、国際児童年記念の一環として、中学二年生奨学生及びお母さんに回答をお願いしました調査結果を、「漁船海難遺族のくらしと教育環境」と題し、年末十二月初めに公表しました。調査対象に抽出されたお母さん、及び奨学生代表の中学二年生の皆さんの御協力に対し、厚くお礼申し上げます。本来ならこの調査報告書を皆さんにお送りするのが当然のことではあります。印刷部数の都合でお送りできなかったことをお詫しください。

この調査結果の公表は、全国の漁協系統や関係機関へ配布しました。一般には、昨年十二月十六日(日曜日)の朝日新聞(朝刊)及びこれと前後して毎日新聞(朝刊)、水産業界各紙に掲載されたとおりです。なお、NHKラジオ(第二放送・漁村の皆さん)で、事務局手島が放送もしました。

こうした公表の結果、特に、朝日新聞に掲載された翌日からは、関東・関西地方を中心に多くの皆さんから暖かい励ましの言葉と御寄附をいただきました。また、本号一面記事のとおり五十五年度予算案で内示された本会に対する国の助成も、この新聞記事が国会の諸先生方の眼にとまったことが一つの原動力にもなったのではないかと推察されます。今後も、本会事業の基礎資料とするために、いろいろ調査を行いたいと考えておりますので、皆さんの御協力をお願い申し上げます。

系統通信

●五十五年度は、一面記載のとおり本会事業強化のため、国の助成が内示されております。しかし、これに伴う責任募金も少なくありません。漁業を取りまく情勢の厳しい折ではあります。●本年度募金は、十二月末現在で目標額の六〇％達成の状況です。年度末までには、全国に配布されました募金箱の成果を含め、なんとか目標額を達成できるよう願っています。また、第一期・第二期漁協系統募金目標額の未達成県におかれては、特にこれの達成を本会からも重ねて願っています。●漁船海難遺族を励ます十年の歩みの編集にあたりお願いしております。地方協議会の十年の歩みはさきに連絡しましたとおり、本年三月末までに必ず本会に届くよう願っています。●五十五年度の育英事業の方針につきましては、新規事業・改善事項について諸規程の改正の正式手続きを経てから、改めて御連絡しますが、毎年若干の見直しがある小学校新入生者と、新規に対象となります幼稚園・保育園児(四―五歳児のみ)の出願準備のため、あらかじめその幼児数等の把握に心がけていただくよう、特にお願い申し上げます。●設立十周年記念事業につきまして、記念事業推進委員会発足第一回委員会を、十一月十四日に開催し、基本的事項について御検討いただき、次回からはさらに具体的事項について御検討願う予定で、年度内にもう一度委員会を開催することとして進めておりますので各委員にはよろしく願っています。

『募金・寄附金』お礼

昭和五十四年十月から十二月までに御協力いただきました漁協系統募金、一般寄附金は、次のとおりです。また本年も年末には、水産庁始め関係団体の皆様からカンパをいただきました。特に、農林水産大臣及びお二人の農林水産政務次官からも、励ましのカンパをいただきました。ここに御芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

○漁協系統募金(十・十二月計) 五、二二一、九三二円

○一般寄附金(十・十二月計)

水産高校生からの激励

「学園祭で募金活動」

私たちは、イカ・サケ・マスなどの漁業基地となっている石川県珠洲郡内浦町小本にある石川県立水産高等学校小本分校無線通信科の三年生です。去る十一月十日・十一日に行なわれた学園祭で、クラスの催しとして慈善バザーをおこないましたので、その売上げ金を全額寄附させていただきます。バザー用の品物としてクラスの全員が、一人一品ずつ持ち寄るということに決めてあったのですが、当日はそれ以上に品物が集まりました。その中でも、女子の手作りのマスコットが大好評でした。バザーの品物を買ってくれたのは、主に小本の町の人達で、漁船海難遺族のための募金活動だと知って特別に寄附してくれた人もいて感激しました。二日間、すべての品物が売り切れ、係りとなっていた者も、みなホッとしました。

私たちにとっては、高校生活最後の学園祭として良い思い出ができ、水産高校生として、漁船海難遺族のために少しでも役に立つことができたこと、こんなうれしいことはありません。漁船海難遺族のみなさん、がんばっ

横浜乾海苔問屋協同組合▽株式会社海光社

○漁協系統募金(四・十二月累計) 一〇、九七二、二一九円

○一般寄附金(四・十二月累計) 一九、一八五、四二二円

○総計 三〇、一五七、六四四円

※御芳名(敬称略)

一、漁協系統募金(系統扱い寄附金含む)

〔十月〕▽山形県(原田行雄・鶴岡市)▽山口県(貞長葉子・南瀬家親族御一同香典返し)▽静岡県

〔十一月〕▽高知県▽島根県▽石川県(石川県立水産高等学校小本分校三年生一同)▽石川県(上田製箱所KK取締役社長上田光正・御母堂香典返し)

▽三重県(三重県漁船保険組合長理事上原繁)▽和歌山県(寒川清子・県漁連職員故寒川勇次氏香典返し)▽香川県

〔十二月〕▽佐賀県玄海▽大分県▽富山県(魚津市中島長治・魚津市島崎藤左衛門・魚津市小林清孝・滑川市平井弘・氷見市酒井光一・下新川郡加藤喜一・魚津市横田一郎ほか)▽青森県

▽青森県(青森市大高兼太郎・海上自衛隊大湊地方隊海洋観測艇乗組員一同)▽福岡県▽京都(匿名)▽広島県(吉岡忠人)

二、一般寄附

〔十月〕▽海文堂出版株式会社(悲しみの海)売上げの一部寄附)▽漁船保険中央会▽藤村弘毅(故御令室君子氏香典返し)▽井上昭幸▽中井昭(東京水産大)▽清水光夫▽八木庸夫(鹿児島大)▽二野瓶徳夫(国立国会図書館)▽全漁連総務部募金箱▽株式会社三幸社募金箱▽千葉海の記念日実行委員会(全日海経由)▽関西汽船海上共済会(全日海経由)

〔十一月〕▽地井昭夫(広島工大)▽水産庁長官室募金箱▽河野通博(西日本漁業経済学会)▽第二十二回大会西日本漁業経済学会有志一同▽農林水産祭募金▽吉岡孝則・千葉港船員サービスセンター・沿海部懇親会(以上全日海経由)▽小副川十郎(日本水産株式会社社長)▽全国沖合いかつり漁業協会▽農林放送事業団▽全漁連石

〔十二月〕▽三和厨理工業KK▽全国漁業無線協会▽全漁連八戸油槽所一同▽漁業信用基金中央会▽大阪市水産物卸協同組合役員▽大洋無線KK一同▽浜田電機KK▽神港魚類KK▽漁船海難遺族育英会募金箱▽全国水産業協同組合共済会一同▽漁船海難遺族育英会事務局一同▽大島みぎわ(東京都中野区)▽魚佃安定基金役員▽漁業共済基金役員▽中央漁業操業安全協会役員▽銚子漁船船員組合・波崎漁民組合・全国海友婦人会波崎支部・年金友の会(以上全日海経由)▽糸山英太郎(農林水産政務次官)▽近藤鉄雄(農林水産政務次官)▽水産庁神戸真珠検査所木村銀司▽水産大学校職員一同▽船員中央労働委員会事務局一同▽全日本海員組合釜石支部ほか関係団体

▽高山隆三(慶応義塾大)▽東都水産KK▽中央魚類KK▽大都魚類KK▽築地魚市場KK▽第一水産KK▽観音寺海産KK▽日本水産(株)鹿島丸機関部司厨部一同(全日海経由)▽北浜ひとみ(漁船同盟経由)▽全国海苔貝類漁業協同組合連合会役員一同▽全海苔連職員労働組合一同▽全漁連釧路油槽所一同▽鈴木さと子▽日水船舶所一かぜ丸乗組員一同(全日海経由)▽漁協経営センター一同▽全漁連塩釜冷凍工場一同▽東京海苔問屋協同組合▽ニチモウKK▽全漁連境港油槽所一同▽倉片備(御母堂香典返し)▽全水振興(株)役員▽全国漁業共済組合連合会役員▽養殖研究所新聞弥一郎▽全国漁港協会一同▽全漁連大船渡油槽所・長崎油槽所一同▽全漁連総務課・石油部外地課・組合経営推進部金融課一同▽大阪市東部水産物卸協同組合▽野口久雄(厳父野口作雄氏香典返し)▽岡本次子(東京都世田谷区)▽全漁連購買部一同▽深海漁場開発KK▽全漁連金沢油槽所一同▽全漁連宮古冷凍工場一同▽全漁連国際対策室・石油一課・漁政部・指導課一同▽東北水産研究所一同▽日本海産水産研究所浜部基次・みずほ丸一同▽河上一雄(千葉県我孫